こんにちは

日本共産党 横浜市会議員団

横浜市中区本町6-50-10(市役所内) 電話 045-671-3032 FAX 045-641-7100

E-mail:info@jcp-yokohama.com http://www.jcp-vokomhama.com/

補聴器購入費助成の 対害を市に申し入れ

日本共産党横浜市議 団は11月21日、補聴器 購入費助成制度の改善 と、加齢性難聴への支 援強化を山中市長に申



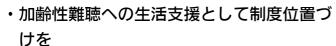
し入れました。医療局の原田浩一郎局長ら5人 が対応しました。

横浜市は8月から補聴器購入費のモデル事業 を開始していますが、助成上限2万円と低いこ と、対象が市民税非課税世帯に限られている ことなど、利用しづらいとの声が寄せられて います。他自治体では上限14万円台の助成も あり、制度改善が求められています。

また、難聴に気づかず受診につながらない ケースや、補聴器に慣れず使用をやめてしま う課題も指摘。市に対し、健診での聴力検査 導入や相談医との連携強化など、早期発見と 継続使用の支援を求めました。

【主な要望】

- ・助成上限額の引き上げ
- 対象拡大
- ・専門職による受診促進
- 高齢者健診への聴力検査導入
- ・相談医との連携・周知強化



市側は「要望を踏まえ順次検討する」と回 答。市議団は、必要な支援が届く横浜をめざ し取り組みを続けます。

不登校支援の強化を!市民団体と

11月20日、党市議団 は不登校支援団体の 「こだまの会」 「学習 グループ・トトロ」の 皆さんと不登校支援に



ついて意見交換しまし 懇談の詳細は→





た。

「居場所に人手が足りない」「小学校 の不登校が急増」「今こそ少人数学級 の実現を」など切実な声や要望が寄せ られました。昨年度の要望を受け、不

登校児童・生徒の健康診断は今年度からモデ ル実施が開始。党市議団は、すべての子ども が受けられる体制へ働きかけを続けます。

横浜保育問題協議会と懇談 保育環境の改善を要望

同日、横浜保 育問題協議会と 懇談し、保育士 配置基準の改善、



0~2歳児保育料・給食費の無償化、職員の処 遇改善、物価高騰への支援などの幅広い要望 を受け取りました。

協議会からは「保育士確保が極い めて困難」「派遣頼みになること もあって紹介料がかさむ」「給与



が低く離職が続く」など、現場の切実な実態 も示されました。要望項目は、保育料・給食 費の無償化、職員配置基準の改善、看護師や 調理員の増員と正規化、物価高騰への財政支 援等、保育の質と職員の働き続けられる環境 づくりを求めています。これらは請願として 市会に提出される予定です。



